

ご来院の皆様へ

国際標準化に伴い、

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1cが
変わります

2012年4月から、新しい
HbA1c(NGSP)が
使われます。

これまでの
ものから、およそ

0.4%

高くなります。

監修 | 日本糖尿病対策推進会議

日本糖尿病学会 ▶ <http://www.jds.or.jp/>

日本糖尿病協会 ▶ <http://www.nittokyo.or.jp/>



日本糖尿病対策推進会議

国際標準化に伴い、

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1cが 変わります

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、過去1~2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われます。

2012年4月から、新しいHbA1c(NGSP)が使われます。

これまでのものから、

およそ**0.4%**

高くなります。

以前のHbA1cの数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。

これまで

2012年4月からNGSP値へ

例えば **6.1%** $+0.4%$ \rightarrow **6.5%**

新しいHbA1c(NGSP)値が6.5%以上の場合は、糖尿病が強く疑われます。



Q&A

Q HbA1cには2種類あるのですか？

A HbA1cには国際的に広く使用されているHbA1c(NGSP)と、日本でこれまで使用されてきたHbA1c(JDS)があります。今後は日本でも、HbA1c(NGSP)を使用することになりました。

